

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-311704

(43) 公開日 平成8年(1996)11月26日

(51) Int. Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 1 C	1/02		A 4 1 C	B
	1/00			F

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-138404

(22) 出願日 平成7年(1995)5月12日

(71) 出願人 390016850

株式会社カドリールニシダ

京都府京都市下京区富小路通五条上る本神明町407番地

(72) 発明者 堀江 昭二

京都市下京区富小路通五条上る本神明町407 株式会社カドリール・ニシダ内

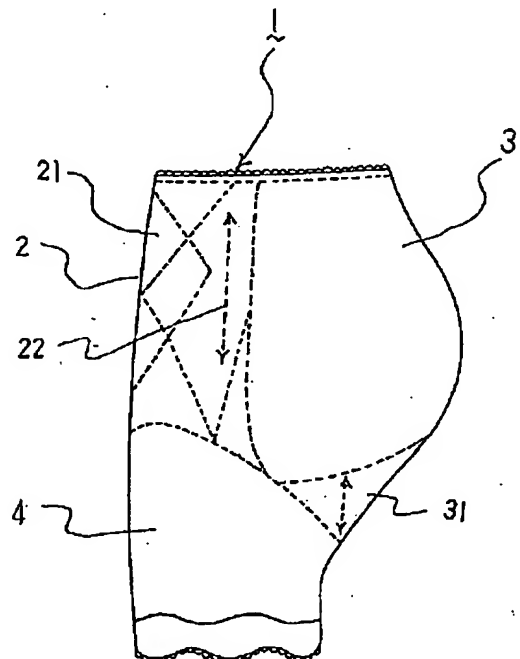
(74) 代理人 弁理士 清原 義博

(54) 【発明の名称】 ガードル

(57) 【要約】

【目的】 着用者に窮屈感や苦痛を強いることなく穏やかに下腹部の締め付けやヒップアップを行い、体型を補正するとともに、動作に応じた伸縮性を発現するガードルを提供する。

【構成】 前身頃及び後身頃とからなるガードルであって、前身頃には中央部に伸縮性を有する当て布が縫着され、且つ、この当て布の左右両側には縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着され、後身頃は臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなることを特徴とするガードルである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前身頃と後身頃とからなるガードルであって、前身頃には中央部に伸縮性を有する当て布が縫着され、且つ、この当て布の左右両側には縦方向にのみ伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなり、後身頃は臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなることを特徴とするガードル。

【請求項2】 前記後身頃にはヒップカップが形成され、このヒップカップのトップを通る上下線と前記略ワンウェイ伸縮布の伸縮方向線とが同一軸上に位置していると共に、臀溝部より上方に先細り状に形成されてなることを特徴とする請求項1に記載のガードル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明はガードルに係り、その目的は下腹部を締め付けて良好な補整を行うことができ、しかも着用者の臀溝部を持ち上げるとともにヒップを着用者の上方向及び後ろ方向に突出させて強調し豊かなヒップを演出しつつ、しかも着用時の臀溝部付近のシルエットを美しく現し、そのうえ着用者の足さばきに追

【0002】

【従来の技術】一般にガードルには全体が柔らかい生地で構成されているものと、締め付け力のあるハードな生地により構成されているものとが存在する。このうち締め付け力のあるハードな生地により構成されているガードルはウエスト部位から下の腰部、腹部、臀部、大腿部などの体型を美しく整えるために着用されるファンデーションで、この一例として、例えば図6に示すように前身頃a中央部に伸縮性のない生地bを使用し、腹部を押さえるように構成したガードルCを例示することができる。さらに、図7に示すように前身頃d中央部に縦方向にのみ伸縮性を示す生地eを使用し、腹部を抑えるよう構成したガードルFも例示することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、全体を柔らかい生地で構成したガードルではヒップアップなど体型を整える作用はなく、一方、ハードな生地で構成したガードルは締め付け力が強く着用者に窮屈感を与え、更に図6に示したように伸縮性のない生地bを中央部に用いたガードルCでは、前身頃a中央部に縦方向の伸縮性がないため、着崩れ現象が生じやすくなるという課題が存在した。さらに図7に示したように前身頃d中央部に縦方向にのみ伸縮性を示す生地eを用いたガードルFでは、着用者の動きによって、ガードルFの脇部gから

後身頃hにおける生地が前方向に引っ張られヒップが扁平に押さえられ、美しいヒップ形状を演出させることができないという課題が存在した。そこで、この発明は下腹部を締め付けて良好な整容作用を発現するとともに、日本人にありがちな扁平なヒップ形状を補整し、着用者の臀溝部を持ち上げ、しかもヒップのボリュームを増大させることができ、ヒップを上方向と後方向に向かって強調し、豊かなヒップを演出しつつ同時に着用者の前後屈伸、立つ、座る、走る、歩く等着用者の運動を妨げることなく、足や体の運動の変化、すなわち運動姿態に追従して伸縮し、着用者のヒップアップ、すなわちヒップを豊かにするという外観向上性を常に確保する、換言すれば美麗なる補整機性能と着用性とを同時に満たすガードルの提供を目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明は前記課題を解決するためになされたものであって、請求項1のガードルでは前身頃及び後身頃からなるガードルであって、前身頃には中央部に伸縮性を有する当て布が縫着され、且つこの当て布の左右両側には縦方向にのみ伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなり、後身頃には臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなることとした。請求項2のガードルでは前記後身頃にはヒップカップが形成され、このヒップカップのトップを通る上下線と前記略ワンウェイ伸縮布の伸縮方向線とが同一軸上に位置してなるとともに、臀溝部より上方に先細り状に形成されてなることとした。

【0005】

【作用】請求項1のガードルでは、前身頃には中央部に伸縮性を有する当て布が縫着され、且つこの当て布の左右両側には縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されている。従って、前身頃における胴回り方向への伸縮は前記略ワンウェイ伸縮布の低伸縮性によって阻止されるから、前身頃により後身頃が引っ張られてしまうことがなく、着用者の腹部全体、特に下腹部を効果的に締め付けることができる。しかも、前身頃中央部には伸縮性の当て布が縫着されていて、且つ前記略ワンウェイ伸縮布が斜め部分では傾斜角度により適度に伸張するため下腹部に対する締め付けを着用者に窮屈感を与えることなく、穏やかに行うことができる。一方、後身頃は前身頃により引っ張られてしまうことがなく、しかもこの後身頃には着用者の臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されているから、常に着用者の臀溝部を持ち上げると共にヒップのボリュームを増大させるよう作用し、この結果、ヒップを着用者の上方向及び後ろ方向に突出させて強調し豊かなヒップを演出することができる。また、着用者が着席したり、立ち上がったたりするなどの動作を行った場合には、その上下運動により前身頃及び後身頃にそれぞれ縫着されている略ワンウェイ伸縮布が伸長されるから、その運動が阻害さ

れず、ガードルが着用者の運動状態に追従して伸縮し、且つ動作時の横方向への影響を少なくすることができ、縦方向の運動状態の着崩れ現象を防止することができる。更に、後身頃には臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウエイ伸縮布が縫着されているから、着用時における臀溝付近のシルエットに段部等を現してしまうことがなく、美しいシルエットを演出することができる。しかも着用者が立ったり座ったりするなどの動作を行った場合は、その動作に伴って臀部より大腿部方向に伸縮するから、生地が身体に食い込んでしまうことがない。請求項 2 のガードルでは後身頃にヒップカップを形成し、そのトップを通る上下線と略ワンウエイ伸縮布の伸縮方向線とを同一軸上に設けることにより、一層良好なヒップアップ効果を発現できる。また、臀溝部より上下に先細り状に前記略ワンウエイ伸縮布を縫着することにより斜め部分では傾斜角度により適度な伸度が得られ、面でのヒップアップ効果を発現できるため滑らかな補整機能が得られ段がつくことなく美しいシルエットが得られる。

【0006】

【発明の構成】以下、この発明に係るガードルの好ましい構成を図面に基いて詳述する。図 1 はこの発明のガードルの 1 実施例を示す正面図であって、図 2 は背面側の外観図、図 3 は側面側の外観図、図 4 はこの発明に係るショートガードルの正面図、図 5 は図 4 の背面図である。図示するようにこのガードル 1 は前身頃 2 と後身頃 3 とから構成されており、しかも前身頃 2 及び後身頃 3 にはそれぞれ足部 4 が延設されている。この前身頃 2 及び後身頃 3 は、通常のガードルにおいて用いられている伸縮性に富むスパンデックス繊維や、ポリエステル系弾性繊維等から構成される。

【0007】この発明において前身頃 2 には裏面側或いは表面側の中央部に当て布 21 が縫着される。図示する実施例において、当て布 21 は前身頃 2 裏面側に縫着されており、且つ正面視菱形形状に形成されている。当て布 21 の素材としては前記伸縮性に富むスパンデックス繊維や、ポリエステル系弾性繊維等が特に限定されことなく好適に使用できる。中央部ではこのように当て布 21 が縫着されているため、部分的にその伸度が他の前身頃部分よりも低く抑えられている。更に前身頃 2 には、前記当て布 21 の左右両側に、縦方向に伸縮性を示す略ワンウエイ伸縮布 22 が縫着されている。この略ワンウエイ伸縮布 22 は前身頃 2 の左右両端部よりそれぞれ当て布 21 の左右両端部に重なり、中心に向かって先細り状に縫着されている。

【0008】略ワンウエイ伸縮布 22 は、縦方向にのみ伸縮性を示す。従って、前身頃 2 中央部の伸張により後身頃 3 が引っ張られてしまうことがなく、通常の状態では前身頃 2 の胴回り方向への伸縮性が阻止され、横方向への影響を少なくして上下運動と着崩れ現象を防止する

ことができる。略ワンウエイ伸縮布 22 は、縦方向に伸縮性能を有し、横方向はまったく伸縮しないか、または縦方向の伸びの 20% 以下の伸びを持つ布が例示できる。ヒップを後ろへ出し、ヒップ頂部を押さえないこの発明の効果を有効に発揮するには、横方向の伸縮は 0 または、これに近い方が望ましい。しかも、全体を締め付け力のあるハードな生地で構成しなくとも、前記したように前身頃 2 に当て布 21 及び略ワンウエイ伸縮布 22 を縫着することにより、着用者の腹部全体、特に下腹部を効果的に締め付けて補整することができる。さらに、前身頃 2 中央部には伸縮性を有する当て布 21 が縫着されているとともに、その両側に縫着された略ワンウエイ伸縮布 22 の斜め部分が傾斜角度により適度な伸度が得られるため、下腹部に対する締め付けを着用者に窮屈感を与えることなく、穏やかに行うことができる。

【0009】後身頃 3 には着用者の臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウエイ伸縮布 31 が縫着されている。この実施例において略ワンウエイ伸縮布 31 は着用者の臀溝ラインより上方に先細り状に形成されている。すなわち、着用者の臀溝部分を覆うように略ワンウエイ伸縮布 31 は縫着されている。この略ワンウエイ伸縮布 31 の形状は、三角形、菱形、これに類似する形であればよく、図 3 に示すロングガードルにおいては菱形、図 5 に示すショートガードルにおいては三角形状が例示されているがこれに限定されない。この発明ではこのように後身頃 3 の臀溝充当部分に略ワンウエイ伸縮布 31 を縫着しておくことにより、着用時の臀溝付近におけるシルエットに段部が生じてしまうことがなく、美しいシルエットを演出することが可能となる。

【0010】一方、前身頃 2 には略ワンウエイ伸縮布 22 が縫着されているから、前身頃中央部が伸縮しても、その伸縮に後身頃 3 が追従されてしまうことがない。従って、後身頃 3 は常に着用者のヒップを整容するよう作用する。後身頃 3 の臀溝充当部分には、縦方向にのみ伸縮性を示す略ワンウエイ伸縮布 31 が縫着されているから、後身頃 3 は常に着用者の臀溝部を持ち上げるよう作用すると同時に着用者のヒップのボリュームを増大させるよう作用し、着用者のヒップを上方向及び後方向に突出させて強調し、豊かなヒップを演出する。また、このガードル 1 ではこのように略ワンウエイ伸縮布 31 が縫着されているから、着用時、通常のロングガードルで認められるような臀溝部における段部（ヒップと太腿部との段差）が生じず、ヒップから太腿にわたって穏やかなラインが現れ、美しいシルエットを演出することができる。

【0011】さらに着用者が立つ、座る、走る、歩く等の動作を行った場合には、前身頃 2 及び後身頃 3 に縫着されている略ワンウエイ伸縮布 22・22・31 がこれら運動状態に追従するように縦方向に伸縮するから、着用者の動作を妨げることがないとともに上下運動による

着崩れ現象が生じることがない。また、図示する実施例ではガードル1の股充当部分に股ぐり方向には伸長せず、幅方向にのみ伸張される略ワンウェイ伸縮布5が縫着されている。このように略ワンウェイ伸縮布5を縫着することによって、着用者の動作により前身頃2中央部が引っ張られてしまうことがなく、下腹部のみを効果的に整容することができるとともに、着用者の足さばきにより所定方向に伸張し、その動作を妨げることがない。さらに、この実施例では後身頃3にヒップカップ32が形成されている。しかもこのヒップカップ32のト

【0009】

【発明の効果】以上詳述した如く、請求項1に係る発明は前身頃と後身頃とからなるガードルであって、前身頃には中央部に伸縮性を有する当て布が縫着され、且つこの当て布の左右両側には縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなり、後身頃は臀溝充当部分に縦方向に伸縮性を示す略ワンウェイ伸縮布が縫着されてなることを特徴とするガードルであるから、以下の優れた効果を奏する。すなわち、下腹部を締め付けて良好な補整を行うことができるとともに、下腹部に対する締め付けにより着用者に窮屈感を与えることなく、穏やかに行うことができる。しかも着用者の臀溝部を持ち上げるとともにヒップを上方及び後ろ方向に増大させ豊かなヒップを演出しつつ、さらに着用時の臀溝部付近のシルエットを美しく現し、そのうえ着用者の前後屈伸、立つ、座る、走る、歩く等着用者の運動を妨げることなく足や体の動きの変化、すなわち着用者の運動姿態に追従して伸縮し、着用者のヒップアップという外観向上性を

常に保持する、換言すれば美麗なる補整機能性と着用性とを同時に満たすガードルであるという優れた効果を奏する。請求項2の発明は前記後身頃にはヒップカップが形成され、このヒップカップのトップを通る上下線と前記略ワンウェイ伸縮布の伸縮方向線とが同一軸上に位置してなるとともに、臀溝部より上方に先細り状に形成されてなることを特徴とする請求項1に記載のガードルであるから、一層良好なヒップアップ効果と臀溝部付近の美しいシルエットを期待することができるという優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係るガードルの一実施例（ロングガードル）を示す正面図である。

【図2】図1に示した実施例における後身頃側を示す外観図である。

【図3】図1に示す実施例の側面における側面側の外観図である。

【図4】この発明に係るショートガードルの正面図である。

【図5】この発明に係るショートガードルの背面図である。

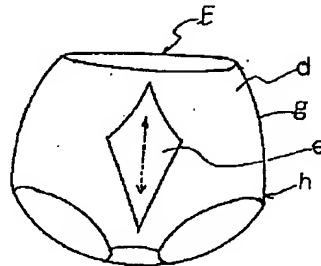
【図6】従来のガードルの一例を示す断面図である。

【図7】従来のガードルの他の例を示す断面図である。

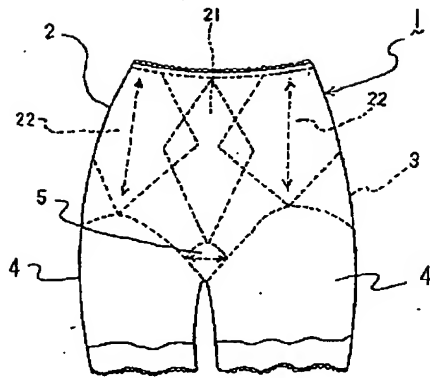
【符号の説明】

1	ガードル
2	前身頃
2 1	当て布
2 2	略ワンウェイ伸縮布
3	後身頃
3 1	略ワンウェイ伸縮布
3 1 a	略ワンウェイ伸縮布の伸縮方向線
3 2	ヒップカップ
3 2 a	ヒップカップのトップを通る上下線
4	足部片
5	股充当部片

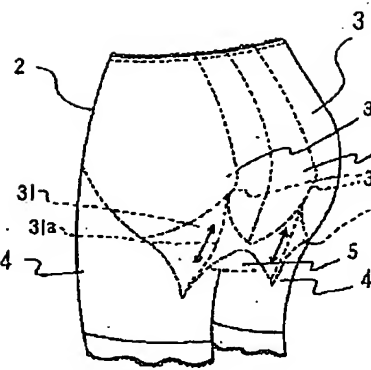
【図7】



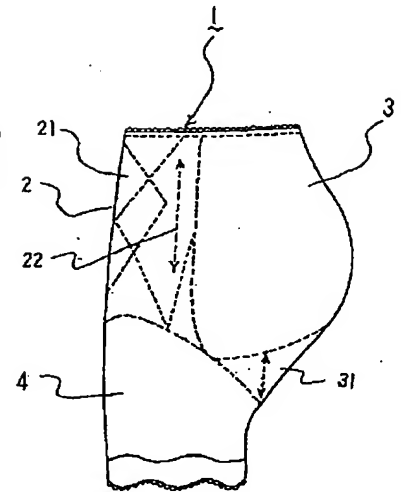
【図1】



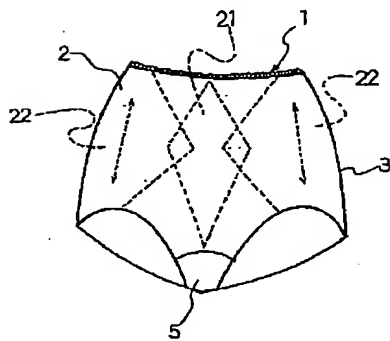
【図2】



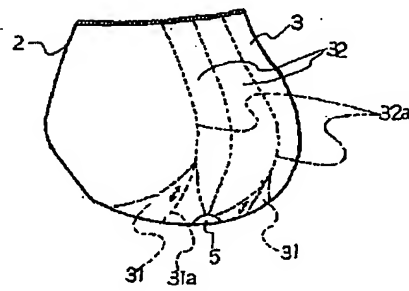
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

